

長野地区社保協（社会保障推進協議会）ニュース



長野地区社保協は、社会保障についての相談窓口です。

社会保障制度の改善をめざして、労働組合、医療、福祉関連の諸団体、

市民団体、女性団体などが共同して運動をすすめる組織です。（活動地域：長野市、上水内郡）

活動報告

長野市議会 子ども医療費

完全窓口無料の請願を採択

新日本婦人の会（新婦人）長野支部は、長野市議会3月例会に「子どもの福祉医療費の受給者負担金をなくし窓口無料を求める請願」を提出。同請願は全会一致で委員会採択、本会議でも採択されました。以下、新婦人の森山雅子さんのレポートです（小見出しは事務局）。

●県が医療費助成の対象を中学3年まで拡充

長野県が、来年度から子どもの医療費の対象年齢を小学3年生から中学3年生まで広げることを明らかにしました。長野市は今年から18歳年度末までに対象年齢が拡大されています。つまり、県の対象年齢拡大により今まで市で負担していた子どもの医療費を他の子育て支援策に使えることとなります。そこで、その予算を使って1レセプト当たり500円の受給者負担金を無くし、完全窓口無料化にして欲しい！と思い、私たち新日本婦人の会長野支部では3月の市議会に「子どもの福祉医療費の受給者負担金をなくし窓口無料化を求める請願」を提出しました。

●反対出ず 請願は全会一致で採択に

議会開会日に各会派を請願のお願いで回った際には、「荻原市長からも、『検討をして行く！』と前向きな発言があったし、持ち帰って考えてみます。」と良い反応でした。そして、3/13（水）に行われた福祉環境委員会では反対意見は出されず、全会一致で採択されました。

●運動が県と市を動かし前進 これからも

子どもの医療費に関する運動は、みなさんと一緒に「窓口無料化、対象年齢拡大を！」と長年声を上げつづけ、何度請願を提出し、市と懇談して来たことでしょうか。少しずつ県・市を動かしここまで前進することが出来ました。請願が採択されて満足ではなく、今後は、なるべく早く実施するように、市へ働きかけて行きたいと思っています。



福祉医療給付制度の改善をすすめる会ニュースから

長野県 通院医療費助成を

「中学3年」に

～長年にわたる県民運動の成果～

長野県は今年4月から、通院の医療費助成の対象を「小学校3年生」から「中学校3年生」まで拡大します。新年度当初予算方針として2月県議会で提案され可決されました。

県としての年齢拡大は、完全無料化とともに私たちが求めてきたもので、県民運動と議会との連携で実現しました。これにより、市町村は別の子育て施策に財源を充てられるようになり、子ども医療費の完全無料化にも大きく道を開くものになります。

介護保険改善を求める意見書の の請願は不採択に

長野地区社保協が長野市議会 12 月例会に提出した「介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善を求める意見書提出についての請願」は、継続審査となっていました。3 月例会で再審査され残念ながら不採択となりました。

請願していた項目は以下のとおりです。

国に対し、以下4点についての介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善を求める意見書を提出すること

- 社会保障費を増やし、必要なときに必要な介護が保障されるよう、介護保険料、利用料、居住費・食費の負担軽減、サービスの拡充など、介護保険制度の抜本的な見直しを行うこと
- 利用料2割負担の対象者の拡大、保険料引き上げなど、介護保険の利用に新たな困難をもたらす見直しを実施しないこと
- 介護報酬を引き上げること。その際はサービスの利用に支障が生じないよう、利用料負担の軽減などの対策を講じること
- 全額公費により、すべての介護従事者の給与を全産業平均まで引き上げること。介護従事者を増やし、一人夜勤の解消、人員配置基準の引き上げを行うこと



12 月例会で意見陳述をした長野医療生協・老健ふるさと職員丸山清志さんは以下のように述べています。

「次期介護報酬改定が目前に迫り、何としても長野市からも制度改悪反対の声を国に挙げていただきたいと思い、請願書提出に伴う意見陳述を行ないました。現場の大変さ、職員の日頃の努力について、また利用者様の代弁者として利用者負担が増えることによる影響もお伝えしました。議員の方々の質問や意見も様々でこの訴えがどれだけ届いたのか不安でしたが、ある議員の方から『これからだよ。がんばろう』とお声をいただいたことは今でも忘れません。結果として不採択となってしまいましたが、今後も制度改善に向け、訴え続けていきたいと思えます。」

介護報酬パブコメ 殺到

訪問介護巡る意見が多数

政府は介護事業者や介護保険利用者・市民の大反対にもかかわらず、訪問介護基本報酬の2～3%引き下げを含む介護報酬改定を3月15日、告示しました。同時に公表したパブリックコメントの結果では、改定案に1190件の意見が寄せられたそうです。訪問介護報酬に関する意見が多かったとのこと。

しんぶん赤旗（3/21）によると、「なぜ訪問介護の基本報酬を引き下げなのか。引き下げに反対」「基本報酬引き下げでヘルパー不足がより深刻化すると考えるが、どう対応していくのか」「訪問介護の収支差率が良好というが、小規模事業者の状況を適切に把握できているとは考えられない。引き下げは妥当ではない」などの声が寄せられているとのこと。